

介護の仕事 Q&A

Q. 介護分野にはどんな資格があるの？

A. 介護の仕事は資格がなくてもスタートできますが、資格を取得することで技術や知識を習得でき、仕事に自信が持てます。また、月給のベースアップや、資格手当が付く施設もあります。受講料の負担やシフトの調整など資格取得の支援してくれる職場もあります。

代表的な介護の資格

介護職員初任者研修

初心者向けで、介護の基本知識や技術が習得できます。研修時間は130時間。旧ホームヘルパー養成研修2級に相当します。

実務者研修

経験だけでは十分に習得できない知識・技術が身につきます。研修時間は450時間。介護福祉士を受験するには、3年の実務経験と実務者研修の修了が義務付けられています。

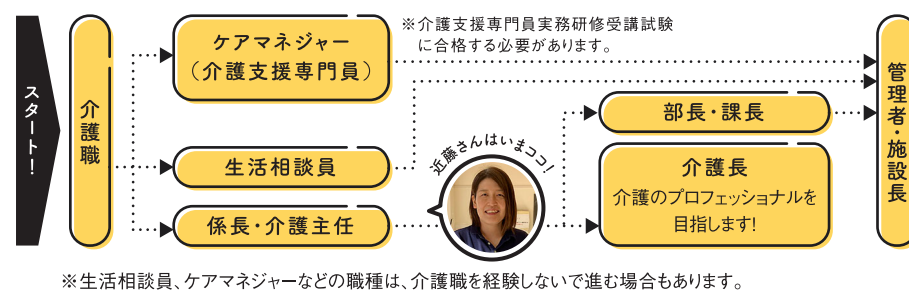
介護福祉士

介護の専門家として法律で位置付けられている国家資格です。

Q. どんなキャリアプランがあるの？

A. 介護の仕事は直接ケアを行う以外に、相談員や事務職員、また、資格を取得してケアマネジャーとして活躍する道などがあります。

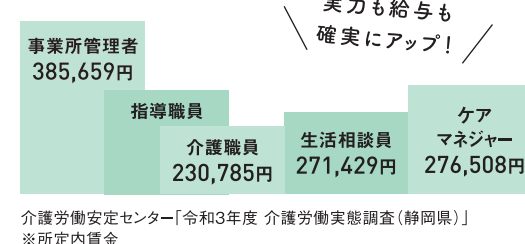
特別養護老人ホーム平成の杜のキャリアアップの一例



Q. 職種と給与について

A. 職種や経験年数によって平均賃金が異なります。介護職として入職した後、介護の主任、指導者として進む以外に、ケアプランを作成するケアマネジャーや利用者、ご家族の相談支援を行う生活相談員として、経験に合わせてステップアップしていく方もいます。この所定内賃金には、賞与や残業代、夜勤手当などは含まれていません。実際の賃金はもっと高くなります。

キャリアごとの収入



Q. 介護職員ってどんな仕事をしているの？

A. 介護の未来ナビゲーター※が、介護の魅力を発信しています。こちらのサイトから「介護職員の1日」をチェックしてみてください。

動画で仕事の流れをチェック！



静岡県 介護の未来ナビゲーター

※介護の魅力発信のため、静岡県知事から委嘱された静岡県内の若手介護職員

福祉の仕事は、「人々が日常生活を送る上で欠かせない仕事を担っている人」＝“エッセンシャルワーカー”としても注目されています。

福祉の資格について知りたい。機会があれば働いてみたい。など福祉の仕事に興味をお持ちの方、相談窓口を開設していますのでお気軽にお問い合わせください。

社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会

静岡県社会福祉人材センター(福祉人材無料職業紹介所)

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館「シズウエル」3F

TEL.054-271-2110 FAX.054-272-8831 月～金曜日 8:30～17:00



静岡県の介護の新3K

感謝を分かち合える仕事
介護職員も利用者も「ありがとう」の言葉

心がつながる仕事
利用者さんが笑ってくれた

感動できる仕事
利用者さんが昨日までできなかったことが
できるようになった



保護者に伝えたい

つながりから始まる 福祉の仕事



福祉の9つの仕事

1 介護・生活支援

高齢者や障がいのある方がその人らしく生活できるようにお手伝いする。

2 保育

保護者とともにこどもたちを守り育てる。

3 相談支援

一人ひとりの悩みを聴き、問題解決に向け計画を立て関係者と連携する。

4 医療・保健・看護

健康状態をチェックし、必要な治療が受けられるようお手伝いする。

5 リハビリテーション

身体や心の機能回復のためにお手伝いする。

6 栄養管理・調理

食事を通じて健康で豊かな生活をお手伝いする。

7 事務・運営管理

利用者や職員をまとめ、運営管理していく。

8 行政

法制度に基づいて、福祉サービスの相談や申請窓口となり、地域の人々の生活をお手伝いする。

9 社会福祉協議会

民間団体として関係団体等と協働し、みんなが安心して暮らせる「福祉のまちづくり」に取り組む。

2人に聞いた ふくしの仕事の気になる話 〈介護職員編〉

訪問介護・
訪問入浴



PROFILE

社会福祉法人 島田市社会福祉協議会 しまだ事業所

介護員／介護福祉士 **細田 怜生** さん

1997年生まれ。2018年新卒入社。休日は同居する祖母とドライブに出かけることも。鳥が好きで、オウムの飼育を計画中。

島田第一中学→島田樟誠高校→静岡福祉大学 社会福祉学部→現在



一日のスケジュール

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:15	16:00	17:00	17:15
出勤・朝礼	(掃除・買物)	訪問介護 (障がい者)	外出支援	記録の入力	お昼休憩	訪問入浴 (排泄介助等)	訪問介護	事務処理
								退勤

細田さんの身近な人たちからお話を伺いました



所長からの声

面接で初めて細田さんと話したとき、そのフレッシュさに可能性を感じる一方で、訪問介護の仕事が務まるだろうか、職員たちとうまくやっていけるだろうか、という心配がありました。そのため入社当初は、社会人としての心構えの部分で厳しく指導したこともありましたが、それを素直に受け止め、彼自身も努力を重ね、今ではすっかり溶け込み、**チームの潤滑油として欠かせない存在になっています**。また介護の現場では、**細田さんの手を握って離さない細田ファン**の利用者様もいます。5年間彼を見てきて素晴らしいと感じるところは、素直さとポジティブさ、そして人の痛みがわかる感性の豊かさ。もともと持っているものを大事にし、彼の成長につながるサポートをし続けたいと思います。



ご家族からの声

共働きでしたので、幼い頃から祖父母と過ごす時間が長かった息子でした。思春期は遊んでばかりで、時々口答えをすることも。そんな息子が「福祉大学に行きたい、将来は福祉の仕事に就きたい」と言ったときは驚きましたが、**良い道を選んだと思いました**。国家資格を取得し介護職に就いてから、母(息子の祖母)が倒れたとき、冷静に対応し、深呼吸するといったよいなどアドバイスしたことを聞き、**息子の成長を感じています**。

特別養護
老人ホーム



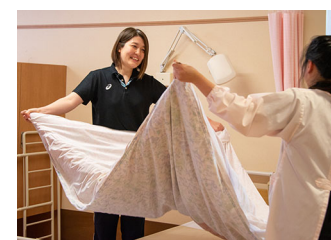
PROFILE

社会福祉法人 寿康会 特別養護老人ホーム平成の杜

主任介護職員／介護福祉士 **近藤 広美** さん

1984年生まれ。2006年入社。夫と2人の娘、母との5人家族。家族とのキャッチボールや歌が大好き!

県内高校→東部福祉情報専門学校→整形外科病院→グループホーム→現在



特別養護老人ホーム…原則として、自宅で生活することが難しくなった高齢者の方(要介護3～5)に必要な介護を行う施設です。看取りを行う特養が増えています。

一日のスケジュール

8:30	9:00	12:00	13:00	13:45	15:00	16:15	17:00
申し送り	出勤・入浴介助	昼食介助	お昼休憩	トイレ介助	おむつ交換	居室へ誘導	おやつ介助
							記録作成等
							夕食介助
							口腔ケア
							退勤

近藤さんの身近な人たちからお話を伺いました



施設長からの声

近藤さんを主任に抜擢した理由は、彼女の明るさ・真面目さ、利用者様を思う強い気持ち、新施設に必要なと考えたからです。とはいえ始まってからは、新しい職場、最年少で主任、育休明けという状況下で相当な苦労があったかと思います。特に彼女が悩んだのは、周囲との力量・熱量の差から生じる考え方の違い、年上の介護職員を指導することの難しさの部分です。ここについては何度も話し合い、**「利用者様はもちろん大事。同様に職員も大事。仕事は一人ではできない」**ということを伝え続け、彼女もそれに応じてくれました。今振り返れば、若い彼女に無理なことを言ったものだ、と思いますが、当時は私も若く、必死でした。ですから、**一緒に成長してきた感覚**があります。子育てがもう少し落ち着いたら、介護長になって皆を引っ張ってほしいと考えています。



ご家族からの声

妻はお年寄りへの思いが人一倍強い人。その分、葛藤もたくさんあるのかなと感じています。そのため、悩みがあるときはゆっくり話を聞くようにしています。気持ちを吐露すれば、あとは自分で答えを見つけていける人ですから。たまにですが、**「自分ができることは相手もできる、というのは間違いだよ」**といった指摘もします。**家事と育児については、同居するお義母さんとも協力しながら家族で取り組んでいます**。

産休・育休を経て
27歳で主任介護職員に。
相談できる人がいるって心強い。

小さい頃からおじいちゃん・おばあちゃん子だったので、介護の仕事に就いたのは自然な流れでした。

入社4年目に第一子を出産し、約1年半の育休を経て、平成の杜のオープンと同時に主任介護職員になりました。

施設長から打診を受けたとき、私は27歳でした。介護職員の中で最も若く、主任を務まるのか思い悩みましたが、**「あなたの行動は正しいから自信を持って」**という言葉に勇気が湧き、チャレンジしました。主任になってから壁に当たったときは、その都度、施設長や仲間に相談しながら答えを見つけてきました。思いを打ち明けられる方が近くにすることは、とても心強いものです。

職場の家庭への理解の深さも、働きやすさにつながっています。「子育てや親の介護、自分自身が病を抱えている人。何もない人はいないから全部お互い様」という考えが全職員に浸透しています。私自身、主任になってからも産休・育休を取得しています。また、昇給が毎年あり、役職に応じた手当もあるので、**収入にも満足しています**。

最近では、若い職員に介助の一つひとつに意味があることを丁寧に教えるなど、**介護技術の指導にも力をいれています**。利用者様に「毎日の暮らしが楽しい」「ここで最期を迎えられて良かった」と思ってもらえるケアができる介護職員を、一人でも多く育てていきたいと思っています。